

令和 4 年度 E-Welfiss 及び防災無線機を活用した情報伝達訓練 実施要領

1 目的

発災時に市及び各区と各所管施設等との連絡体制を確保するため、複数のツールを使用した情報伝達を模擬体験することにより、災害発生時の対応力向上を図るとともに、E-Welfiss 及び防災無線機の操作習熟度を向上させる。また、シナリオ協力施設に大きな被害が発生することを想定し、近隣施設等との相互支援の仕組みについても訓練を行い、連携の強化を図る。

2 実施概要

- (1) 実施日 令和 4 年 1 2 月 2 2 日（木） 9 時 3 0 分～1 1 時 3 0 分【防災無線機】
1 3 時 1 5 分～1 4 時 3 0 分【E-Welfiss】
- (2) 実施場所 各施設等、各所属
- (3) 参加対象 市役所関連〔健康福祉局危機管理担当、災害福祉調整本部（長寿社会部・障害保健福祉部・地域包括ケア推進室）、リハビリテーションセンター（南部・中部・北部）、各区支所高齢・障害課〕
高齢者施設〔特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホームの一部、サービス付き高齢者向け住宅の一部、高齢者向けグループホームの一部〕
障害者施設〔障害者支援施設、医療型障害児入所施設、短期入所施設〕
地域包括支援センター、
基幹相談支援センター
関係機関等〔川崎市社会福祉協議会、川崎市老人福祉施設事業協会、川崎市障害福祉施設事業協会〕
- (4) 使用ツール E-Welfiss、防災無線機（電話）
- (5) 想定災害 令和 4 年 1 2 月 2 2 日（木） 9 時 0 5 分発生
川崎市直下地震（最大震度 6 強）
※発災直後に停電、電話・インターネット回線一時不通（発災後約 2 時間で復旧）、一部施設で建物被害

3 事前の依頼

(1) 訓練実施・参加依頼

参加対象の施設等、関係団体に訓練参加依頼を送付し、当日の参加可否の回答を依頼する。回答は Web フォームに入力。

なお、訓練開始日時等のほかに、予め使用ツール及び初回連絡方法（防災無線機）について周知する。

※防災無線機未設置施設は、インターネット回線復旧後（午後の E-Welfiss フェーズ）から参加してもらう。

(2) シナリオ協力施設への依頼事項

事前に各区1施設以上を選定し、市が指定する被害状況等を報告・入力していただくよう依頼する。「防災無線機による被害状況報告」及び「E-Welfiss の支援要請（SOS）入力」が対象。なお、市が指定する被害状況等は訓練前日までにシナリオ協力施設へ連絡する。

(3) 訓練終了後のアンケート回答依頼

事前の依頼文及びE-Welfiss 上でアンケートのURL（またはリンク）を公開し、回答の協力を依頼する。

4 訓練内容

(1) 発災直後の連絡体制確立【防災無線機フェーズ】9時30分～11時30分

- a. 災害福祉調整本部から全施設（庁内も含む。）へ「被害状況の確認を実施する」旨を一斉連絡。
- b. 各区と施設間で通信（受信）確認を実施し、各区から災害福祉調整本部へ確認結果を連絡。（防災無線機の不具合等がある場合には個別通信または電話で確認。）ただし、障害者施設は、障害保健福祉部と通信（受信）確認を実施。また、基幹相談支援センターは、地域包括ケア推進室と通信（受信）確認を実施。
※シナリオ協力施設には、訓練前日までに被害状況等の内容を連絡し、連絡した内容を回答してもらう。
- c. 各区からの連絡受領後、災害福祉調整本部から「インターネット回線が復旧した」旨を一斉連絡し、E-Welfiss のログイン・連絡体制確立等の必要な入力を行うよう促し、午前の訓練は終了。（E-Welfiss のIDが付与されていない施設は以上で訓練終了）

※防災無線機による通信の例は別添資料「防災無線機通信シナリオ」を参照

(2) 支援要請・被害報告【E-Welfiss フェーズ】13時15分～14時30分

各施設等は、E-Welfiss にログインし必要な入力を実施する。

災害福祉調整本部及び各区支所高齢・障害課は、E-Welfiss で各施設の連絡体制確立状況を確認し、支援要請（SOS）施設への対応や被害報告の確認を行う。なお、連絡体制未確立施設への架電は行わない。

- a. 各施設等はE-Welfiss のお知らせ欄に記載のとおり入力を行う。入力後、連絡機能を用いた指示・連絡があった場合は適宜対応を行う。
 - ・すべての施設等 → 「連絡体制を確立する」を押下し、「被害報告」を入力
 - ・シナリオ協力施設 → 「連絡体制を確立する」を押下し、「支援要請（SOS）」を入力後、「被害報告」を入力

※シナリオ協力施設には、訓練前日までに支援要請（SOS）等の入力内容を連絡し、連絡した内容を入力してもらう。

- b. 災害福祉調整本部は「支援要請（人的支援以外）」及び「被害報告」の入力内容

を確認し、対応が必要なものについて優先順位を検討し、調整・対応を行う。また、Excel 出力機能を活用し、支援要請件数や被害内容をまとめる。

- c. 各区支所高齢・障害課は「支援要請（人的支援）」の入力内容を確認し、至急の人員要請について、連絡機能などを用いて区内施設等へ支援可能か調整を行う。また、区外近隣施設等へ依頼したい場合には該当区と連携し支援可能か調整を行う。なお、人的支援以外のものが要請に含まれている場合でも、人的支援については各区支所高齢・障害課で対応を行う。

5 注意事項

- (1) 防災無線機が未設置の施設、E-Welfiss の I D が付与されていない施設があるため、各フェーズの参加者に変動があることに留意すること。
- (2) 当日の状況により、急遽参加できない施設等があることを予め考慮すること。

※今回は発災直後の初動対応を中心に実施するため、二次避難所開設等の対応は割愛。